

大学院ニュースレター

久留米大学大学院医学研究科

第 69 号 / 2013 年 12 月 20 日発行

編集 / 医学研究科長

『大学院生と論文作成』

内科学講座（腎臓内科部門）教授 奥田 誠也

日本からの医学系の英文論文の掲載総数が減少してきており、その原因として研修医の義務化が関連しているのではないかと、ということがしばらく前に話題になった。我々の医局でも例外ではなく、論文数がじりじり減少している。現在の生命科学のレベルは高くなり、我々の分野でも科学雑誌の impact factor(IF)が格段に上昇している。以前なら臨床片手間で行えた研究でも、それなりの科学雑誌に accept されていたが、最近は編集長や査読者の求めるデータの質や量が厳しくなっている。編集長レベルで rapid reject され 2, 3 日で戻ってくる論文も多くなり、実験の量、時間、費用を増やさなければレベルの高い学会誌には accept されにくくなっていることを切実に感じる。臨床研究も前向き、多施設、無作為研究割り付け等、膨大な患者数と長い観察期間の研究のみしかランクの高い雑誌には掲載されない。

そうならば、大学院で与えられるじっくり研究できる 4 年間は貴重で、高いランクの雑誌を目指しやすい環境にあるはずである。しかし、以前久留米大学学術奨励賞の選考をした時に気づいたことだが、大学院研究科委員会に提出される論文の IF をみると、意外にも甲号（大学院生）の IF は、乙号（院生以外）の IF より低い傾向に

ある。これは大学院期間内の論文提出を考慮して accept されやすい雑誌を選ぶ傾向があるためと聞いている。このことは、一流雑誌に掲載される論文作成には、4 年の研究期間は短すぎるのか、あるいは、臨床現場の人手不足（アルバイトも含む）で臨床に時間をとられ十分な研究期間を確保してもらっていないためかもしれない。臨床で忙しく働いている医局員には、ランクの高い科学雑誌を目指すより、少しランクをさげて早く学位論文として accept してもらうことも多い。しかし安易に学位を取らせる道に走ってしまうと、さらに最新の科学を取り入れた研究を導入できず、研究は停滞してしまう。悩ましいところだが、すべてが高いランクの雑誌でなくとも、2 人か 3 人は、少し時間と研究費がかかっても一歩でも先を見据えた論文を投稿してくれるよう指導している。

医局の大学院生に、そもそもなぜ大学院に行くのか、大学院の利点はなにか、学位の甲号と乙号の違いは将来どういう意味をもつのか院生に入学動機を聞いてみると、主な理由は早く研究生活を送ってみたい、研究の時間が十分とれ、みっちり研究できるなどであり、学位が欲しいとか、甲乙の種類などにはあまり興味を示さなくなっている。大学院に入学する動機に学位が欲

しいという人が少なくなっている。また、院生以外は、どっぷり研究生生活をする気はないが、できたら臨床を続けながら、学位をとりたいというスタンスの人が多く感じる。さしより、学位より認定医や専門医をとることに重きを置いている傾向にある。学位の価値についてはこれまでも述べられてきたように、医療にかかわるものは科学的考え方を身に付ける必要があり、

臨床研究、実験、論文作成はその能力を伸ばす絶好の機会である。最近の大規模臨床研究の結果は治療に反映されるが、それを読み解くためには論文作成の経験がなければかなり難しい。大学院での研究において、ただ創造的な研究にあこがれ、研究を続けるうちに、結果として学位に結びつく事も少なくなく、それが大学院の本来の姿かもしれない。

事務通信

◆修士課程第2学年学生の皆様へ◆

学位論文提出と年度末スケジュール



1. 学位論文申請書類と提出期限

[提出期限：平成26年1月17日(金)17時(時間厳守)までに庶務課に提出]

- ① 学位論文審査願 1通
- ② 主論文 5通 (印刷公表が望ましい)
- ③ 参考論文 各3通 (作成している者のみ)
- ④ 論文目録 1通
- ⑤ 論文要旨 1通
- ⑥ 履歴書 1通
- ⑦ 単位修得証明書 1通 (教務課にて準備する)
- ⑧ 写真(4×3cm) 1枚

申請書類については、医学研究科ホームページ (<http://gmed.kurume-u.ac.jp/>) の書式ダウンロードページより入手して下さい。また、申請書類のうち①～⑥については、下書きを提出締切日前に学位担当に提出し、事前にチェックを受けられるようお願いいたします。

[学位担当：医学部事務部庶務課 生野(内線3014) E-mail: ikuno_ayano@kurume-u.ac.jp]

2. 口述試験 [期間：平成26年2月3日～2月14日]

*詳細については学位申請時に説明。

3. 最終審査 [平成26年2月26日]

*合否については3月1日以降各々指導教授に確認すること。

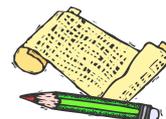
4. 学位記授与式 [平成26年3月26日11時～]

*場所：筑水会館2階イベントホール



◆博士課程第1学年学生の皆様へ◆**研究題目調査実施について**

博士課程1年生を対象に、平成26年2月上旬ごろ研究題目調査を実施します。この調査は博士課程在学中の各自の研究テーマを調査するためのもので、久留米大学院医学研究科規程第9条に基づき、第2学年前期の始まる前までに決定することと定義されております。調査書類が届きましたら、必要事項記入の上、期日までに必ず医学部事務部教務課までご返送下さい。

◆博士課程第4学年学生の皆様へ◆**学位論文提出の手続きはお済みですか？**

博士課程4年生で今年度中に学位論文を提出し、修了を予定する方は既に配布したスケジュールに沿って準備をお願いします。なお提出しない方については、平成26年2月上旬ごろを目途に医学部事務部教務課から「在学期間延長・単位修得満期退学希望調査」を実施しますので、その際にご回答をお願い致します。

講義情報**★博士課程**

- 「プロテオーム／ペプチド解析」
 - ・時 間 割：火曜6限：18:00～19:30
 - ・講義日程：平成26年1月7日大沼、14日東元、21日永田、28日永田
 - ・場 所：教育1号館5階1501教室
 - ・レポート 提出日：平成26年2月14日（金）17時締切
提出先：医学部事務部教務課窓口

- 「臨床・基礎研究と生命倫理（コンサルテーション）」
 - ・レポート 提出日：平成26年1月31日（金）17時締切
提出先：緩和ケアセンター福重教授

- 「科学的根拠に基づく医療（EBM）」
 - ・レポート 提出日：平成26年2月3日（月）17時締切
提出先：医学部事務部教務課窓口

お知らせ**学生駐車場募集について**

現在大学院に在籍する学生の平成26年度学生駐車場の申請については、例年1月末～2月初旬に受け付けております。正式な公募要領は駐車場委員会で審議され、決定されます。当該時期になりましたら、各所属講座や医学研究科ホームページを通じてお知らせしますので、申請を希望される方はご確認をお願いします。

前期入学試験結果発表!!

平成25年10月15日（火）に行われた前期入学試験の結果は下記の通りです。
後期試験については次項のとおり実施します。

	修士課程	博士課程
志願者	14名	8名
受験者	14名	8名
合格者	12名	8名

平成26年度大学院医学研究科後期入学試験のお知らせ

【試験日程】修士・博士ともに同一

出願受付期間: 平成26年1月14日（火）～平成26年1月24日（金）

試験期日: 平成26年2月18日（火）

合格発表: 平成26年3月14日（金）午前10時

【試験内容】

***修士課程**

《基礎医学・社会医学・分子生命科学・臨床看護学群》

英語・小論文・面接

《バイオ統計学群》

英語・面接

***博士課程**

英語・面接

別途、科目等履修生も募集しております。身近な方で、医学研究科に興味・関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ご紹介の程どうぞよろしくお願い致します。

**編集後記**

2013年も早いもので残りわずかになりました。この一年間授業に研究にと大変お疲れ様でした。日に日に寒さが増していますが、体調管理には十分留意され、良いお年をお迎えください。2014年もどうぞよろしくお願い申し上げます。(山)